

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年 3月12日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2970300402
法人名	有限会社 あんしん
事業所名	グループホームあんしん
所在地	大和郡山市横田町760 (電話) 0743 - 59 - 5008
評価機関名	奈良県国民健康保険団体連合会
所在地	奈良県橿原市大久保町302-1 奈良県市町村会館内
訪問調査日	平成21年 2月27日

【情報提供票より】(21年2月17日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成15年 1月 1日
ユニット数	2 ユニット
職員数	28 人
利用定員数計	18 人
常勤	8 人
非常勤	20 人
常勤換算	16 人

### (2) 建物概要

建物構造	木造 平屋建て
------	------------

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000 円	その他の経費(月額)	31,800 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(200,000円)	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
または1日当たり 1,740円				

### (4) 利用者の概要(2月17日現在)

利用者人数	16 名	男性	6 名	女性	10 名
要介護1	3 名	要介護2	7 名		
要介護3	3 名	要介護4	3 名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 84.9 歳	最低	64 歳	最高	98 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	中島クリニック・岡谷病院ほか
---------	----------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、市内南東部に位置する市街に民家を改造して開所されました。正面の玄関周りは板塀で周囲の環境に溶け込み温かみを感じられます。また、地域の行事への参加・ホーム行事への招待等による地域社会との関わりを大切に運営されています。入居者も、特技や趣味を生かしながら本人のリズム・ペースで穏やかに生活されています。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	運営推進会議が設置され定期的に会議が開催されています。また、サービスの自己評価に当たり職員の参画の下に実施されています。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	サービス評価の意義・目的を正しく理解され、外部評価結果を職員に周知すると共に運営の反映されています。また、自己評価にあたっては、課題の把握や解決への取り組み機会とされています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議を設置されましたが、開催回数が少ないため十分機能するところまで至っていないように感じますので、入居者の安定した暮らしへの支援に向けて有意義な活用を期待します。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族の訪問時に、不安を感じられている事や意見等を積極的に聞きだす取り組みがなされ、寄せられた意見等は職員会議で検討し運営に反映する仕組みがあります。なお、毎月一人ひとりの暮らしの様子等を家族に連絡されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	ホームも地域社会の一員と認識され、地域の各種行事等(祭り・クリーンキャンペーン等)への参加やホーム内行事への招待等による連携・交流が図られています。

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>1. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「あかるく・のんびり・ゆったり」を基本とする理念があり、地域住民との積極的な交流の中で運営されています。		地域密着型サービスに制度改正され、地域との関わりをより重視し、実体的に地域社会との交流もなされていますので、改正の趣旨を踏まえ規定上に明確に位置づけられる事が望まれます。
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	定例会議で常に話し合いが持たれると共に、ホーム内の見易い場所に理念を掲出し、実践に活かす取り組みがなされています。		
2. 地域との支えあい					
	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホームも地域社会の一員と認識され、地域の各種行事等(祭り・クリーンキャンペーン)への参加やホーム内行事への招待等による交流が図られています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義・目的を正しく理解され、外部評価結果を運営に反映させる取り組みがあり、自己評価にあたっては、職員参画の下に課題の把握や解決への取り組む機会とされています。		
	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	行政や地元関係団体代表等で構成する運営推進会議が設置され定期的に会議が開催されています。会議では、入居者の状況報告や運営方針等を説明し、意見交換がなされています。また、家族等からの要望等を聞く場ともされています。		運営推進会議の開催回数も少ない事もありますが、設置の機能を十分果たすところまで至っていないと感じられますので、今後の有意義な活用を期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域密着型に位置づけされた事から、行政との連携は不可欠との考えがあり、入居者の一時帰宅の際の生活維持の相談や運営上の諸課題についても連絡・相談し、サービスの向上への取り組みがなされています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	定期的な「あんしん通信」の発行と担当者が毎月の一入りの暮らしの様子等をひとこと通信に作成され連絡・報告されています。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の訪問時に不安を感じられている事や意見等を積極的に聞きだす取り組みがなされ、寄せられた意見等は職員会議で検討し運営に反映する仕組みがあります。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	安定した生活の維持には、相互の信頼関係が極めて大切な要素であるとの思いから、職員の異動時には一定期間新・旧職員が行動を一緒にする等混乱の防止への配慮がなされています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	サービスの質の向上は職員の質と連動するとの考えがあり、外部研修への参加と共にホーム内研修を実施し、意識・技術の向上への取り組みがなされています。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県内で組織されているグループホーム協会に加入し、同業者との積極的交流がなされ、サービスの質と職員の資質の向上に努められています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居は本人の納得が肝要なことから、家庭訪問の実施での暮らしの様子の確認や体験入居の採用・おやつやレク時間帯の活用等により、スムーズな移行への工夫がなされています。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>伝統的風習や季節の行事また自家菜園での作業手順等入居者の特技や知識に協働し、共に支えあう関係での支援に努められています。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居前の生活歴や趣味等の把握と共に入居後の暮らしの中からの思いの把握と観察や意向を確認し記録されています。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は、その人らしい生活の継続・維持を基本に関係者が相談し作成されています。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画は、基本的には3月毎に見直しされていますが、定期的にケア会議を開き、現状分析がなされ、入居者の状態に変化が生じた場合は、必要に応じ家族等とも相談し、計画の変更・見直しを行う事とされています。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族の状況を勘案し、医療機関への受診や一時帰宅時の送迎・買い物等の同行等柔軟な対応がなされています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人の希望を優先に柔軟な支援が図られています。なお、協力医の定期的な往診もあり適切な医療支援がなされています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人や家族の終末期への関心の高い事を認識され、関係者が十分相談し明確な方針が確立されています。また、職員への周知・徹底も会議等を通じ図られています。なお、看取りまでなされた実績もあります。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	尊厳の尊重を支援の基本にした関わりを大切に、職員は常にその言動等には留意されています。なお、記録等の個人情報の取り扱いについての学習もなされ、管理・保管も適切にされています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の基本的な生活の流れの設定はありますが、本人の生活リズム・ペースを大切に支援されています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は一日の営みの中で極めて大きな楽しみ事であることから、調理や盛り付け・配下膳等に協働され、職員と一緒に和やかな雰囲気の下に摂られています。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日や入浴時間帯の設定はありますが、本人の状態や希望に合わせた支援に努められています。なお、毎日の入浴希望者や夜間への対応もなされています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の生活歴等を参考に、特技や趣味(食事準備・洗濯・野菜作り・書道等)を活かせる機会を設定し自然に役割や楽しみ事に行動できるよう取り組みがなされています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出により受ける刺激の有効性を認識され、入居者の体調や天候を勘案し、日常的に周辺の散歩を取り入れられています。また、季節に応じてホーム外行事の実施もあり、外出機会の確保に努められています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵を掛けることの弊害を理解されていますが、入居者の安全確保を第一に考え、内玄関は閉錠されています。正面玄関は家族の了解の下に施錠されています。		ホームの外周りが板塀で温もりが感じられますが、施錠によりその雰囲気を損なっています。見守りの徹底や行動パターンの把握等で安全確保も図れると思料しますので、改善に向けた取り組みを期待します。
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地元消防署の指導の下に定期的に避難・消火訓練の実施や緊急通報装置が設置されています。また、震災時に備え飲料水等の備蓄もなされています。		火災発生時には、迅速・安全に入居者を屋外に誘導する事が求められます。とりわけ夜間等の職員の手薄な時は地域住民の応援・協力は欠かせませんので、応援・協力体制の整備を期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取量や水分補給の状況は詳細に記録され、栄養バランスについても献立に工夫されています。なお、状態に合わせた調理方法がなされています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	旧家を改造されている事から、共用空間は広くはありませんが、太い梁があったりと温かみを感じられます。また、浴室やトイレの清掃が行き届き清潔感があります。なお、テラスや囲炉裏もあり思い思いに過ごせる空間も確保されています。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具や馴染みの品物が持ち込まれ、穏やかに過ごせる場所となっています。なお、入居者の希望に沿うため和室・洋室が選択出来るように準備されています。		